

『全国学力・学習状況調査』の結果

この調査は、全国的な児童生徒の学力と学習状況を把握、教育施策の検証・改善を目的として、小・義務教育学校6年生と中学校3年生・義務教育学校9年生を対象に、文部科学省が平成19年度から実施しています。

令和7年度は国語、算数・数学、理科の3教科で実施されました。湧別町の子どもたちの様子について、その調査結果の概要をお知らせします。
(※理科・英語は3年に1度実施しています)

義務教育学校前期課程 (学校数: 3校、児童数: 49人)

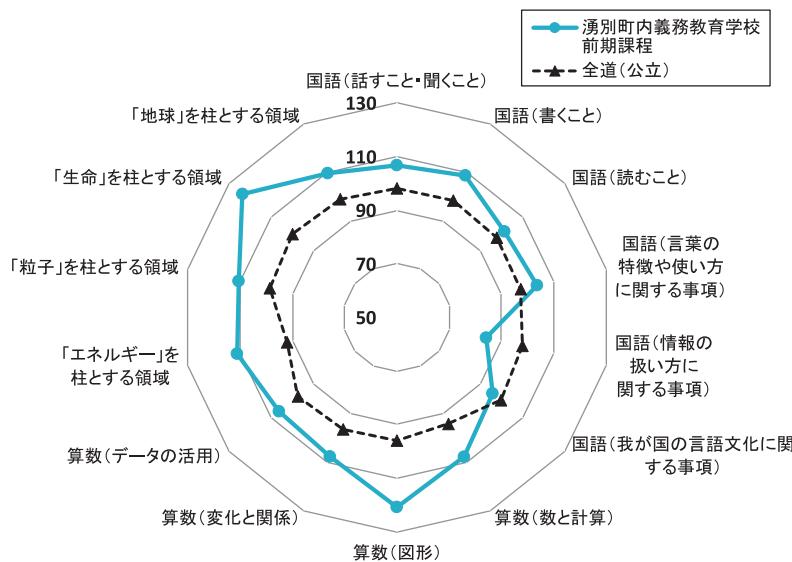
国語(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと、言葉の特徴や使い方に関する事項)、算数(すべての項目)、理科(すべての項目)の3教科12領域で全国および全道平均を上回りました。

【教科全体の状況】

教科の領域別に **全国を100** とした場合の全道および湧別町の状況を

レーダーチャート(グラフ)で示したもの

(湧別町の平均正答率 ÷ 全国(公立)の平均正答率 × 100で算出)



【児童 質問調査】

《理科》理科の勉強は好き

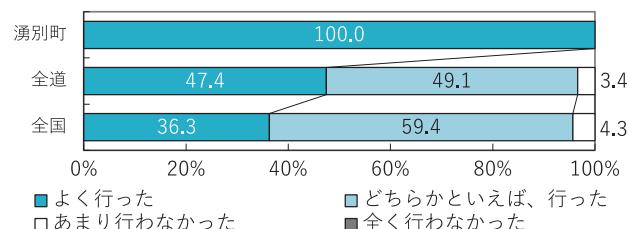


《算数》算数の授業の内容はよくわかる

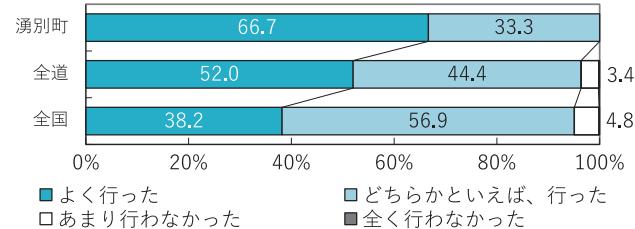


【学校 質問調査】

《全般》日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行った



《算数》具体的なものを操作するなどの体験をともなう学習を通して、数量や图形について実感をともなった理解をする授業などを行った



【分析】

●理科の授業において、前年度までに日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行ったことにより、理科の勉強は好きと回答した児童の割合が全国・全道を上回ったとともに、理科のすべての領域で平均正答率が全国・全道を上回ったと考えられる。

●算数の授業において、前年度までに具体的な物を操作するなどの体験をともなう学習を通して、数量や图形について実感をともなった理解をする授業などを行ったことにより、算数の授業の内容はよくわかると回答した児童の割合が全国・全道を上回ったとともに、算数のすべての領域で平均正答率が全国・全道を上回ったと考えられる。

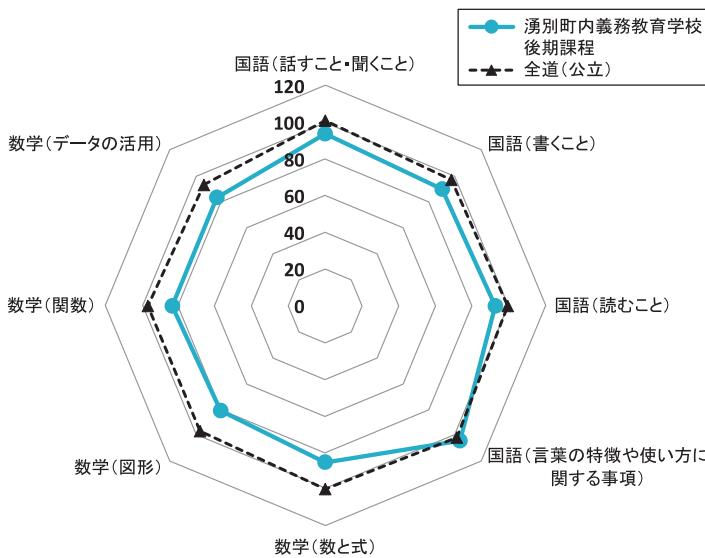


義務教育学校後期課程 (学校数：3校、児童数：34人)

義務教育学校後期課程では国語（言葉の特徴や使い方に関する事項）で全国および全道平均を上回りました。

【教科全体の状況】

教科の領域別に **全国を100** とした場合の全道および湧別町の状況を
レーダーチャート（グラフ）で示したもの
(湧別町の平均正答率 ÷ 全国（公立）の平均正答率 × 100で算出)
理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません



【湧別町の学力向上策】

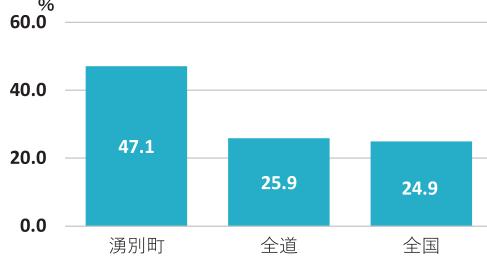
- 湧別町型学校力向上事業に基づく授業公開や研修事業の実施
- 全国学力・学習状況調査などを活用した授業改善や学習習慣の確立
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学び合いの授業やICT端末の効果的な活用
- 学力向上支援員や特別支援教育支援員などの配置の充実
- 長期休業を活用した高校生ボランティア学習サポートの実施
- 学校図書館支援事業による読書活動の推進



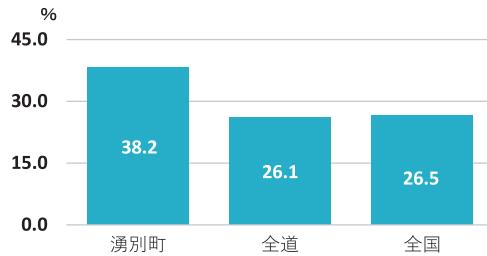
町ホームページでは過去の調査結果も公開しています

【生徒 質問調査】

《全般》 先生はあなたの良いところや前よりできるようになったところはどこかを伝えてくれる

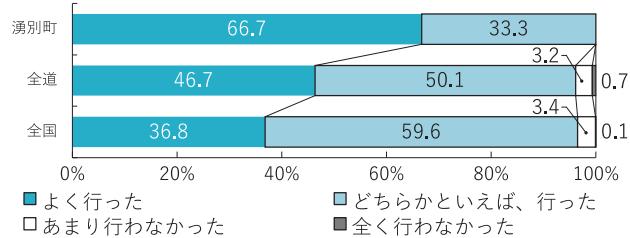


《数学》 数学の勉強は好き

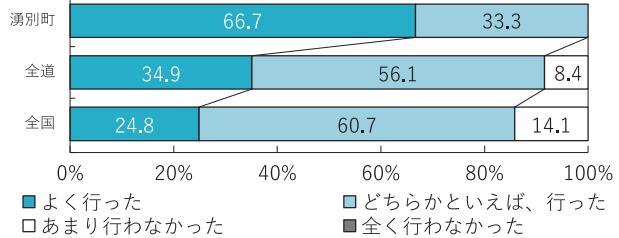


【学校 質問調査】

《全般》 生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じた



《数学》 調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質を見いだす活動を行いましたか



【分析】

●国語の授業において、前年度までに生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることにより、先生はあなたの良いところや前よりできるようになったところはどこかを伝えてくれると回答した生徒の割合が全国・全道を上回ったとともに、国語の「言葉の扱い方に関する事項」で平均正答率が全国・全道を上回ったと考えられる。

●数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質を見いだす活動を行ったことにより、数学の勉強は好きと回答した割合が全国・全道を上回ったとともに、数学の「図形」の領域で平均正答率が全道・全国に最も近くなったと考えられる。

9/
26

寄付をありがとうございます 衛星Wifiを町に寄贈

東京都で衛星携帯電話のレンタルや販売などを手掛けている(有)アクアテックより、衛星Wifi 1台のご寄付をいただきました。

大和田健斗代表取締役と大和田秘書が来庁され、物納式を開催し刈田町長へ物品贈呈が行われました。

寄贈いただいた物品は、災害時などにの非常用通信手段として有効に活用させていただきます。

上湧別庁舎応接室

勇別町企業版ふるさと納税



有効に活用させていただきました。ありがとうございます

9/
28

満員の会場が熱気爆発 相川七瀬 30th ANNIVERSARY LIVE 2025

ゆうべつ活性化委員会主催の「相川七瀬 30th ANNIVERSARY LIVE 2025」が行われました。

「みんなも一緒に歌ってください！」と相川さんの掛け声で開幕したライブは、1曲目から観客が総立ちになり、腕を振り上げる白熱のスタート。1995年のデビュー曲「夢見る少女じゃいられない」をはじめ、30周年を飾る新曲まで、元気が出るロックナンバーや心搖さぶるバラードが次々と披露されました。

文化センターさざ波



満員の会場が一体感に包まれ、一夜限りの特別な時間となりました

10/
1

地域の防災を担う

湧別町消防団に4人が入団

湧別町消防団は155人が地域の防災を担う存在として、また、火災発生時には消火・警戒などの消防活動を行い、地域の防災リーダーとして活躍しています。

全国的に消防団員数の減少、高齢化などの課題に直面しております、地域の防災力の低下が危惧されています。入団希望の方、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】遠軽地区広域組合消防署

湧別出張所消防団係 TEL5-2338
上湧別出張所消防団係 TEL2-4111



芭露分団 越智健太さん



上湧別分団 涌島正倫さん



湧別分団 田原隆成さん



湧別分団 金澤 翼さん

芭露神社



熱戦を繰り広げました

10/
1

芭露神社祭でイベント開催

こども角力(すもう)大会

芭露神社祭典で「こども角力(すもう)大会」が開催されました。

今回の「こども角力大会」は6年ぶりの開催となり、芭露学園の生徒19人が参加。川上智広校長先生が行司を務め、東西に分かれての取組や1年生から3年生、4年生から6年生でグループを分けた3回勝ち抜き戦が行われました。参加した生徒は「勝つ自信はあったけど、いざ土俵に上がるとドキドキした。」と話すなど、楽しんでいる様子でした。



子どもたちは笑顔で「ノアちゃんかわいいね」と話していました

かみゆうべつ温泉 チューリップの湯



ぜひ道の駅へお越しいただき、この広告を通じてレバンガ北海道への熱いエールを送りましょう！

文化センターTOM



参加者は互いに交流をしながら楽しんでおり、拍手や歓声が上がるほど盛り上りました。

文化センターTOM



さまざまな作品が展示されました

10/
2

道内1位のゆるキャラ ホタテのノア

ゆるバース2025(旧ゆるキャラグランプリ)で道内1位を獲得した株式会社マルナカ相互商事のゆるキャラ「ホタテのノア」の凱旋セレモニーが開催されました。

レッドカーペット上を行進し、その後はゆるバース2025の決勝投票ステージで盛り上がりを見せた大縄跳びチャレンジを披露。

参加した認定こども園みのりの子どもたちは行進を見送り、大縄跳びチャレンジでは元気よく大きな声で応援し、みんなで「ホタテのノア」の挑戦を見守りました。

10/
2

湧別町が熱く応援！

2025-26レバンガ北海道応援看板広告が完成

湧別町とレバンガ北海道は令和5年10月に地域活性化、学校教育、スポーツ振興と健康づくりにおいて相互協力を目的とした包括連携協定を締結しています。

この取り組みの一環として、道の駅「かみゆうべつ温泉 チューリップの湯」駐車場にレバンガ北海道応援の看板広告を設置しました。

湧別町としてチームを応援するムードをさらに盛り上げ、スポーツを通じた地域の活性化を目指します。

10/
3

頭と体の体操

高齢者向けeスポーツ教室開催

高齢者向けのeスポーツ教室が開催されました。

高齢者eスポーツは、目で見て、耳で聞き、頭で考え、手を動かすという一連の動きをゲームという慣れない形に置き換えることで、脳や体の動きを活発化させ、健康促進や認知症の予防を目的としています。

講師として株式会社NTTe-Sportsを招き、午前・午後あわせて参加者34人に對し音楽に合わせて太鼓をたたくリズムゲームを使ったレクリエーションを行いました。

10/
4-5

湧別の芸術作品が集結

総合文化祭「展示の部」

湧別町総合文化祭（湧別町文化連盟会長 古川宏道さん）の展示作品展が文化センターTOMで開催されました。

文化協会加盟団体の皆さんによる腕によりをかけて製作した、生け花、盆栽、絵手紙や書道など、さまざまな力作を展示。

訪れた方々は作品をじっくりと見て、芸術の秋を満喫していました。

10/
4-5

町の味覚をPR

ほっかいどう秋の大収穫祭

北海道主催の「ほっかいどう秋の大収穫祭」で、湧別町の団体関係者が焼き立ての牛肉やホタテなどを販売し、大勢の行楽客らに町の味覚をPRしました。

湧別町農協やえんゆう農協、漁協、商工会、観光協会などから集まった11人が運営し、地場産のタマネギや店内で焼き上げたゆうべつ牛ステーキやホタテ焼きを販売しました。町のふるさと納税のLINE公式アカウントに登録した人にタマネギ1個をプレゼントする企画も好評で、店頭は多くの来場者でぎわっていました。

10/
5

音楽でつながる一体感

第4回オホツクオーケストラ演奏会

オホツクオーケストラは地域密着型の音楽プロジェクトで、宝塚歌劇オーケストラサキソフォン奏者であり、湧別町出身のふるさと応援大使である小泉潤弥さんが監督を務めています。子どもから大人、初心者やブランクのある経験者、意欲的な学生から音大生まで、道内外から集まった約30人により演奏が行われました。

演奏には一体感が感じられ、観客は演奏を聴いているうちに引き込まれるように真剣な表情へと変わって行き、深く聞き入っている様子でした。

10/
5

来春もきれいに咲きますように

エスコンフィールドに湧別のチューリップ

プロ野球北海道日本ハムファイターズの本拠地・エスコンフィールド北海道がある北広島市のFビレッジに湧別のチューリップ球根1万800球が植え付けられました。

日本ハムファイターズを応援する「湧別後援会」の柴田洋幸会長より「昨年植えたチューリップは今年5月に見事に咲き誇りました。皆さまの手で来春も湧別のチューリップを咲かしていただき、多くの方に楽しんでいただきたい。」と話しがあり、計12種類の球根を園路の両脇に植えました。

10/
6

備蓄米などの更新に合わせて

株西村組から災害用備蓄米を寄贈

株西村組の西村幸志郎取締役執行役員社長が刈田町長のもとを訪れ、災害用備蓄米などを寄贈していただきました。

これは、同社が保有する作業船が全国各地で工事を行う際、現地で発生する災害に備えて社員を守り地域の方にも役立ててもらおうと、船内に備蓄しているものです。

今回、備蓄米などの更新に合わせ、地域貢献活動として町で有効に活用していただきたいと備蓄米70kg、レトルトカレー240食を寄贈していただきました。

北海道庁赤れんが庁舎前（札幌市）



湧別町農協、えんゆう農協、漁協、商工会、観光協会などの職員が販売

文化センターさざ波



多彩なジャンルの楽曲が披露されました

Fビレッジ（北広島市）



ボランティアのFビレッジガーデンサポーターやその家族らおよそ70人が参加しました

上湧別庁舎応接室



いただいた備蓄米などは、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



上湧別コミュニティセンター



町内の事業所や団体などに所属する方や高校生など27人が参加しました

文化センターさざ波



日本人と外国籍住民との交流の時間が設けられ、楽しそうに会話をする姿が見られました。

旧上湧別小学校



この日は厳しい寒さでしたが、消防団員64人、消防車6台が集結し、多くのご来賓が見守る中実施されました

10/
9

文化センターTOM周辺の活性化に向けて 町民ワークショップを開催

第3回未来づくり町民ワークショップが開催されました。

このワークショップは、文化センターTOM周辺の一体的な活性化に向けて、町民の方々からの意見やアイデアをいただき、今後の施策の参考とするため行われているものです。

講師である総務省地域力創造アドバイザー(株)47partners 横尾代表から他市町村での事例紹介などが行われた後に、グループごとにTOMの年代ごとの活用シーンや他施設との機能連携、魅力向上などについてディスカッションを行いました。

10/
12

日本語での会話サポート 日本語学習支援者養成講座

一般社団法人北海道日本語センターの講師を招き、日本語学習支援者養成講座が開催されました。

外国籍の住民向けにひらがなやカタカナを用いたbingoや日本語でのコミュニケーションの取り方などのアクティビティを実施。さらに、遠軽消防署職員を招き119番通報の仕方などについての講義も行われ、実際に消防に通報する練習をしました。

また、日本人の参加者は、外国籍住民に向けての「やさしい日本語」でのコミュニケーションのとり方や日本語での会話のサポートの仕方について学びました。

10/
13

団員同士の連携強化 湧別町消防団秋季消防演習

旧上湧別小学校敷地内で秋季消防演習が開催されました。旧上湧別小学校ボイラー室での火災を想定し、消防車両による放水訓練や、多数の傷病者に対する応急手当を行う救護班訓練を実施しました。訓練を通じて、団員同士の連携強化を図りました。

この演習の目的は、「消防精神の高揚と技術の練磨」「指揮・統率・命令の徹底」「団員相互の緊密な連携と親和」です。団員一人ひとりが地域の安心安全に対する決意を確認しました。

各種大会で活躍

◆第59回全道高等学校音楽発表会

(10/2:稚内市)

湧別高校吹奏楽部 優勝



※町内在住で、全道規模の大会などに出場した方・団体を掲載しています。(敬称略)

◆2025年度第12回地区カブスリーグ決勝大会

(10/11:中標津町)

サッカーチームJOGATURA 出場



後列左から2番目 小形駿斗 (ゆうべつ学園8年)

右から5番目 福井 翔 (ゆうべつ学園8年)

地域の魅力発信！ 湧別町に『ポケふた』が寄贈されました



「ポケふた」は、地域の魅力発信を目的に、(株)ポケモンから全国の自治体へと寄贈されているものです。

それぞれの地域のイメージに合わせてデザインされた世界で一つだけのマンホール蓋です。

北海道内には本町を含めて50枚が寄贈されています
(令和7年10月15日時点)。

(株)ポケモンから湧別町に、ポケモンのマンホール「ポケふた」が寄贈されました。

湧別町の「ポケふた」には、「北海道だいすき発見隊」の「ロコン」と「アローラロコン」のほか「アブリー」が描かれ、その背景には、かみゆうべつチューリップ公園をイメージした風景がデザインされています。本町の魅力がつまった世界に1つだけのかわいいデザインです！

10/15(水)

ポケふたお披露目式を開催

今回新たに「ポケふた」が寄贈される本町を含めた道内8市町を対象に、「ポケふたお披露目式」が開催され、湧別町から阿部教育長が出席しました。

8市町ごとに異なる「ポケふた」デザインがお披露目され、会場にいた子どもたちは「強そうでかっこいい」「かわいい」と笑顔で話していました。

湧別町の「ポケふた」は、チューリップの湯に設置されています。ぜひ皆さん、ご家族やお友達とご覧ください。

北海道庁赤れんが庁舎前庭（札幌市）



広告



所定の審査がございます。商品内容等、詳しくは当金庫ホームページをご覧いただくか、窓口へお問い合わせください。





イベント・行事スケジュール

11月10日から12月20日までに行われるイベントや行事をお知らせします。



11月12日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。」(10:00 湧別総合体育館) 運動・トレーニング教室「ゆうふいと。プラス」(18:30 湧別総合体育館)
13日(木)	チューリップ生きがい大学「レコード鑑賞会」(10:00 文化センターさざ波)
14日(金)	上湧別学園合唱祭(13:10 上湧別学園)
15日(土)	認定こども園みのりお遊戯会(9:00 文化センターTOM) わくわく体験塾「廐・コマづくり」(10:00 文化センターさざ波) 百人一首教室(13:00 上湧別農村環境改善センター)
19日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。」(14:00 湧別総合体育館)
20日(木)	相互交流事業 ニュージーランド派遣参加者報告会(18:30 文化センターTOM)
21日(金)	つなぐカフェ(認知症カフェ)(14:00 リハビリ型デイサービスつなぐ) 湧別町民大学「講師:坪田敏男さん」(19:00 文化センターTOM)
22日(土)	百人一首教室(13:00 上湧別農村環境改善センター)
25日(火)	いろいろ触ってみよう!スマホ教室(9:30 文化センターさざ波) いろいろ触ってみよう!スマホ教室(13:30 文化センターTOM) 支えあいサポート(認知症サポート)養成講座(13:30 文化センターさざ波)
26日(水)	いろいろ触ってみよう!スマホ教室(9:30 上湧別農村環境改善センター)
27日(木)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。」(10:00 湧別総合体育館)
28日(金)	支えあいサポート(認知症サポート)養成講座(18:30 文化センターTOM)
29日(土)	湧別認定こども園お遊戯会(9:00 文化センターさざ波) 百人一首教室(13:00 上湧別農村環境改善センター)
30日(日)	家庭教育研修会(10:00 文化センターTOM)
12月3日(水)	チューリップ生きがい大学「クラブ活動発表会」(10:00 文化センターさざ波)
6日(土)	チャレンジスポーツスクール「バスケットボール2」(10:00 湧別総合体育館) 百人一首教室(13:00 上湧別農村環境改善センター)
7日(日)	町民300歳バーボール大会(9:00 湧別総合体育館・中湧別総合体育館)
11日(木)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。」(10:00 湧別総合体育館)
13日(土)	百人一首教室(13:00 上湧別農村環境改善センター)
17日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。プラス」(18:30 湧別総合体育館)
18日(木)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。」(10:00 湧別総合体育館)
20日(土)	わくわく体験塾「ケーキ作り」(10:00 文化センターさざ波) 百人一首教室(13:00 上湧別農村環境改善センター)

広告

お電話1本、24時間、365日お迎えに伺います

株式会社
えんがる葬祭
☎0158-42-9898
遠軽町学田2丁目6-1 FAX 0158-42-9933

**24時間
受付**

式場収容数
・大ホール400名
・中ホール200名
・小ホール100名
・法事ホール